

感想集

「島根県委託事業・みんなで学ぶ人権事業」

みんなで学ぶ人権講座

後援：松江市、部落解放同盟島根県連合会、
在日本朝鮮人総聯合会島根県本部、朝日新聞松江総局、
山陰中央新報社、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局

全国水平社創立宣言の意味と 100年後の今日的課題

水平社宣言とは？

1922年に発表され日本で最初の人権宣言といわれる。この水平社運動が、その後の女性解放やアイヌ民族の「解平社」、朝鮮の被差別民白丁（^{ハクチョ}）の「衡平社（^{ヘヨウ}ヨウサ）」などの運動に大きな影響を与えた。



講師：谷元昭信さん

（大阪市立大学非常勤講師）

講師紹介：約50年にわたり部落解放運動の推進力となり、あらゆる差別・人権問題解消に尽力している。現在、「人権のまちづくり運動」に取り組んでいる。

手話通訳・要約筆記あり

日時：**11月20日**（**土**）14:00～16:30

会場：松江市民活動センター（スティックビル）201研修室

参加費：500円 介護者、20歳未満無料

主催：人権パッチギの会 松江 問合せ：090-3638-5438 森

「島根県委託事業・みんなで学ぶ人権事業」

全国水平社創立宣言の意味と100年後の今日的課題

【講 師】谷元昭信さん 大阪市立大学非常勤講師

【日 時】2021年11月20日(土) 14:00~16:30

【会 場】松江市民活動センター(スティックビル)交流ホール

【参加費】500円 介護者、20歳未満無料 手話通訳・要約筆記有

【主 催】人権パッチギの会 松江

【問合先】090-3638-5438 森

【後 援】松江市、部落解放同盟島根県連合会、在日本朝鮮人総聯合会島根県本部、朝日新聞松江総局、山陰中央新報社、島根日日新聞社、中国新聞松江支社、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局

1922年3月3日、京都市岡崎公会堂にて全国水平社創立大会が行われ、日本最初の人権宣言といわれる水平社創立宣言を採択した。その後水平社運動が、女性解放やアイヌ民族の「解平社」・朝鮮の被差別民白丁(ハクチョン)の「衡平社(ヒョクピョソク)」などの運動に大きな影響を与えた。

宣言100年を迎えるにあたり、あらためて水平社宣言を読み解き、当時の社会的背景・理念を検証し、今日的課題を提案したいと思います。



参加者 感想文

○久しぶりに全国水平社せ創立宣言について学ぶことができました。宣言にある精神に改めて感動しました。また、当時の新聞で「人間」を「じんかん」とふりがなをふっていたのが気になっていましたが、その回答を得ることができました。(松江市)

○差別の考え方「差別をなくす為に必要な場合は使わなければいけない」このことを先生のように自信を持って説明する事が出来るくらいに自分も勉強しようと思いました。
時間がたりない もっと先生の話を知りたい。(松江市)

○歴史 背景についてとてもわかりやすく教えて頂きありがとうございました。(松江市)

○憲法 25 条 26 条 27 条 を大切に生きていきたい。ありがとうございました。人権、人間ですね。ネコの「姫」が文句を言うかも知れませんが (松江市)



○本日は貴重な講演を聞かせていただきありがとうございました。あらためて「水平社創立大会宣言」素高な理念がよくわかりました。この「人間を尊敬する」という考え方が日本にあり、人権について深く考える風土があったこと、それが水平社だということをしっかりと学びました。今の時代にも通じる宣言、今だからこそ大切にしたい宣言です。本日はありがとうございました。(松江市)

○谷元先生のお話は、先生の熱い思いと思想をととても感じました。ありがとうございました。(松江市)

○全国水平社創立宣言大会「宣言」までの時代背景について認識することができました。また宣言の動きと、これからの課題などポイントが見えてきたように思います。具体的にみえてくると自分も動き出そうと言う意味が高まってきます。なかまとつながって、身の周りの生活課題にむかっていこうと思います。(松江市)

○水平社創立宣言の意味を詳しく解説していただき改めてその素晴らしさを認識する事ができました。そしてその後の取り組みについても詳しく解説していただきいろいろな変遷をたどっていることが理論的にわかりました。今日的課題としては、部落差別解消法佳奈伴う取り組み、人権課題全体を通しての解消の取り組みを両面から行われなくてはいけないと思いました。(松江市)



○財政の主権取り戻し運動として、今年は **welove** 山陰キャンペーンを使って雲南市のフィールドワークを行った。権力者が制度を使いづらくしつつ、身内（パソナ）にお金を配っていると強く感じる。中小企業への給付金はまるで政府に申請をださせ政府への忠誠心を確認しながらお金を出しているようだ。微々たる力しかないが権力の届かないところへの正義の実現をしたい。（米子市）

○「水平社創立宣言」をなんども見聞きしているにもかかわらず、その背景に思いを馳せるには至っていませんでした。米騒動の話も、学校で学んだこと以上のことは全く知識がありませんでした。「差別」と一言で言ってしまうとそれまでですが、その「差別」の中にもたくさんの方々がいる、側面にもたくさんの方々がおられたのだということに改めて考える機会になりました。来年には、創立宣言から 100 年となります。その 100 年の中に自分の両親や親戚、友人、そして自分もいるのだと。すでに他界している両親から生前、差別体験の話を知り、自分もまた自分の差別体験を語ることで、いつになれば、そのようなことから解放されるのか。あと、どのくらいの時間が経てば過去の出来事になるのか。そんな思いを持っています。自分には何ができるのか。何をしなければならぬのか。今の自分に「これだ！！」と胸を張って言えるものがないと思われまます。それでもやはり、目を開けて、耳をすまし、声を上げて一歩ずつきちんと自分の足で自分の人生を歩いて行こうと思っています。本日はありがとうございました。（津和野町）



○P7 「差別の双方悲劇性」をあらためて感じました。今後若い世代にどう伝えて行くか、我々に何が出来るか考えなおしてみます。2022年から高校地理歴史科が「歴史総合」「地理総合」必修、「地理探究」「日本史探究」「世界史探究」が選択となります。国がどういう歴史観を「暗記」させようとしているのか市民の立場で考えてみる必要があると思います。できれば「歴史総合」の読書会をつくりませんか。(松江市)

○講演内容に伴う報告時間が十分ではないと思う。与えられた時間で皆さんの理解を深めて講演するレジメが必要だと思う。今回のレジメを分割逆手講演することも必要できないかと思う。民主主義論のさらなる考察を期待します。(米子市)

○今の人間社会の状況をどうみるか、示唆にとんだ視点を教えていただき、諸々納得しました。アメリカ独立宣言、フランス人権宣言もそうですが、水平社宣言もやはりそれが出された当時の世界社会状況の背景をふまえてのものであり、限界や弱点があることもふくめて見ておく必要があること。またそうした検証的な視点で現在、現代の社会を見つめ、考え、主体的に行動していて必要を感じました。特に人間は互いに尊敬し合う存在としての認識に基づく社会精度の構築が必要（だがそうはなっていない現実）というお話は本当にそうだと思います。

